

対象年度		令和 6年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート												
事務事業名		結城南中学校区新設校建設事業						予算事業名		結城南中学校区新設校建設事業費						
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令							
				10	02	03	3001	経常経費								
総合計画体系		未来を担う子どもと 生き生きした市民を育む地域を目指そう 地域への愛着と誇り、「生きる力」を育む教育環境づくり 安心して学べる学校づくりの推進						事業の区分		主要事業(6次総非掲載)						
								担当課係等		学校教育課 小学校新設推進係						
		事業期間		継続 (令和 5年度～令和 8年度)												
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】									
網川小学校、江川北小学校、江川南小学校、山川小学校、上山川小学校の5校を統合し、小中一貫型小学校・中学校とするために、新設小学校を結城南中学校の敷地内に整備する。							児童生徒数の減少傾向により小・中学校の小規模化が進行しているなか、快適な教育環境・特色のある魅力的学校づくりを目指し、令和3年度に「適正配置等に関する方針」が示された。									
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】									
R5年度：校舎基本設計・実施設計(1年目)、測量調査、環境整備実施設計 R6年度：校舎基本設計・実施設計(2年目)、環境整備工事 R7年度：建設工事・工事監理(1年目)、外構実施設計 R8年度：建設工事・工事監理(2年目)、外構工事・工事監理、備品購入、引越業務 R9年度：開校							結城南中学校区の小中学校									
							【事業をとりまく環境の変化】 建設資材や労務費の高騰により建設費用の上昇が見込まれる上に、令和9年度開校を目指し計画的に新設校建設事業を進めるためには、建設予定地にある中学校施設の解体新設等が事前に必要になる。									
【令和 6年度 事業内容】				【令和 7年度 事業内容】				【令和 8年度 事業内容】								
・新設校建設基本設計・実施設計(2年目) ・新設校環境整備工事 (1)部室・外トイレ・倉庫新設工事 (2)テニスコート・砂場新設工事 (3)プール・部室・外トイレ解体工事 (4)テニスコート解体工事 (5)駐輪場解体・駐車場整備工事				・新設校建設工事、監理委託(1年目) ・新設校外構工事実施設計				・新設校建設工事、監理委託(2年目) ・新設校外構工事、監理委託 ・備品購入 ・引越業務委託								
■事業費																
				R04年度		R05年度										
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0									
	県		支	出	金	0	0									
	地		方		債	0	17,300									
	そ		の		他	0	0									
	一		般	財	源	0	62,763									
歳 入 計 (千 円)						0	80,063									
歳 出 内 訳	節 (番 号 + 名 称)					金額 (千円)	金額 (千円)									
	12 委託料					0	80,063									
歳 出 計 (千 円) (A)						0	80,063									
伸 び 率 (%)							皆増									
備 考	総合計画 ページ 予算書 ページ															

令和 4年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R04年度	R05年度	R06年度
活動 指標	業務委託契約手続き件数（主な委託業務）	件	目標	1.00	6.00	0.00
	R4基本計画・基本構想策定 R5基本設計・実施設計業務、測量調査、環境整備実施設計業務4件		実績	1.00	0.00	0.00
	工事契約手続き件数（主な工事）	件	目標	0.00	0.00	4.00
	R6環境整備工事(1)部室・外トイレ・倉庫新設工事(2)テニスコート・砂場新設工事 (3)プール・部室・外トイレ解体工事(4)テニスコート解体工事(5)駐輪場解体・駐車場整備工事		実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	推計より早く複式学級が編制された学校がある上に、対象校5校の小規模校としての現状や今後の減少傾向を踏まえると事業の必要性・緊急性が高い。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	公立学校に係る事業であるため、行政が実施しなければならない。
	手段の妥当性	A 妥当である	一般的な手法により設計・工事を執行し事業を進めている。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらも言えない	市内で偏りがないように必要最小限の教育環境の整備に必要な学校建設とすることでコスト削減に努めているが、特色ある学校を目指す場合はさらにコストの上昇が見込まれる。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	現在の小規模校の現状を踏まえ、他の学校が満たしている適正規模に近づけるための対策であるため事業完了により偏りはなくなる。
有効性	成果向上の余地	B どちらも言えない	令和9年4月開校に向けて事業を計画的に進めていくが、進捗に応じて中学校に関連する環境整備事業の前倒しを検討する必要がある。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	推計より早く複式学級が編制されたが、「結城市学校適正配置等に関する方針」で示した令和9年4月開校に向けて計画的に進めている。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
基本構想・基本計画で定めたスケジュールに従い、新設校建設や関連する中学校施設の環境整備の設計業務を進めていく。大きな予算を伴う事業となるため、国庫補助金や学校教育施設等整備事業債を十分に活用し財源を確保しつつ、市議会への報告と協力要請を並行して行っていく必要がある。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
小中学校適正配置等推進事業における推進委員会での検討事項を設計内容に反映しながら、地域や小中学校関係者と連携して進める必要がある。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☒ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 結城南中学校区新設校基本構想・基本計画に基づき、令和9年度の開校を目指し、ハード・ソフトの両面から建設事業を進めていく。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 財政状況と可能な限り調和を図りながら進める。	